

支部総会代替書面決議

青山学院校友会静岡県西部支部の令和2年総会はコロナ禍により、残念ながら中止となりました。支部総会の代替として、昨年11月19日に支部役員に議案をメールにて送付し、採決を実施したところ、賛成多数で承認を得ましたので、ホームページに掲載致しました。

校友会静岡県西部支部長
長谷川義男(昭43卒 経・商)

神野選手を囲む会 (令和3年6月6日)

校友の箱根駅伝で「3代目の神」と呼ばれた現在プロの陸上選手である神野大地選手が浜松に移住されてきました。さっそく支部として神野選手をお招きして、本来であれば支部の多くの会員の皆様と共に歓迎の会を、と思いましたが、現在のコロナ感染状況を考慮して限定役員のみでの「神野大地選手を囲む会」を6月6日(日)に開催致しました。場所は、浜松市中区板屋町の「笑門浜松」において18時30分から20時30分までの2時間で行われました。神野選手・限定役員として長谷川支部長・平野副支部長・杉山事務局長・山中宏美と神野選手と以前から親交のある平野副支部長の御子息である平野啓介さん(本学大学院卒)の6名の出席でした。コロナ禍でありますので、出席者全員の名簿を提出し、前面の遮蔽や座席間の距離を取るなど厳重な注意をして行われました。美味しい料理を食べながら、和気あいあいとした雰囲気であつたという間の2時間でした。実業団チームには所属せず、プロの陸上選手として活動している神野選手に、何故浜松に移住されたのか、今後の目標は何かなど色々な角度からのお話を伺うことが出来ました。神野選手の人柄もあり、素直に率直にお答えいただきました。移住理由は、「世界で戦える選手」を目指している「自分にとって、より良い練習環境が浜松にはある」と判断したからだそうです。具体的には、以前からコーチを受けている元世界陸上マラソン日本代表選手である藤原新コーチが浜松市に本社のある「スズキ」の専任コーチとして浜松に在住されており、直接コーチを



受ける為だそうです。また、練習環境として佐鳴湖畔や中田島砂丘が素晴らしい、ご自分に合っていると判断したそうです。今後は、パリオリンピックや世界陸上競技選手権ユニバーシアード大会の出場を目指すそうです。そのため、練習環境として浜松が最適であると判断したそうです。4月に東京から拠点を移して以来、一日も休みなく練習しているそうです。当日も、21kmを走ったあと会に出席していただきました。ケロツとした顔で食事をしていましたので、さすがだなと感じました。「浜松から世界を目指す」「高い志と高い身体能力を持つ神野選手には、是非夢を実現して欲しい」とつくづく思いました。そして、支部を上げて神野選手の夢の実現のために応援していきたいと思いましたが、がんばれば神野選手。「支部総会」が開催できる状況になれば、都合さえ合えば参加していただけるそうです。是非会員の皆様にも、神野選手と話が出来る機会にもなりますので、多くの方々にご出席いただきたいと思います。

箱根駅伝TV観戦記(令和3年1月2日・3日)

二〇二二年の年始は今まで経験した事のない正月でした。世界中・日本中がコロナ禍で自粛我慢が求められ初詣も近場の神社で済ますという様なことでした。その中で第97回箱根駅伝が「応援したいから、応援に行かない」という状況でも開催出来た事は関係各位様の大変なご努力の賜物であると感謝の念に堪えません。母校選手達の走る姿を、今年も応援出来大変嬉しい思いでした。私も「静岡県西部支部校友会」では、二〇一七年より4年続けて「パブリックビューイング」で「箱根駅伝を応援する集い」を行ってきました。毎年1月2日・3日の2日間、20〜30名の参加で選手達・原監督を応援してきました。一喜一憂しながら同じ場所ですぐに母校を応援しますと母校への思いが共有でき大変良い雰囲気でした。4年の間は、総合優勝3回・2位1回と立派な成績を残していただき大いに応援のし甲斐もありました。第97回大会も思い「応援する集い」を開催する前提で準備してきました。しかし、残念ながら12月7日の臨時役員会で、現状を鑑み痛恨の思いで中止を決定しました。「絆大作戦」毎年恒例の原監督が命名する作戦名。自宅で一人でも、絆を感じて応援しようという思いになりました。1月2日の当日は、日本テレビでの朝4時30分に起床して5時から始まった事前情報提供番組からチェックを開始。神林主将が一番初めに取り上げられ気持ちも高まりました。私事ですすが毎朝測定している血圧測定も、この日はいつもより10程高めで気合が入っていました。ここ4年間は7時過



山中宏美(昭53卒 経済)

ぎにパブリックビューイングの会場に行き準備を始めたのですが、今年には全くその必要がありませんでした。何か寂しいような気楽なような複雑な気持ちでした。そしてこの時点で気がなくなったのが、発表された出場メンバーの中に神林主将がいらないと言ったことでした。当日変更で2区か3区に入るものと思っていたので嫌な予感がしました。あつという間に8時のスタート時間になりました。そして号砲が鳴り、1区がスタート。誰かが飛び出し超高速になると思いきや、超スローペースには驚きました。エースの吉田選手なら何とかしてくれらるだろうと思いき、お正月でもあり朝からアルコールを少しづつインプットし始めました。しかし、2区3区と中々前に行けず、4区の期待の一年生佐藤選手で10位に上がるも結局12位で往路が終了。一昨年の事が思い出されました。校友間でLINEを活用してずっと応援メッセージのやり取りをしていましたが、往路終了時点でこんなメッセージも「優勝どころかシード権争いになりました。明日は切り替えて応援するぞ。」「原監督がゲームオーバーを宣言しましたが、2年前みたいに選手が奮起して良い結果にして欲しいなあ。」そして1月3日復路の反撃が始まりました。6区の高橋選手が区間3位で10位になると、7区の近藤選手で7位、8区の岩見選手で5位、9区の飯田選手で4位、10区の中倉選手で一時は3位にまであがりましたが、結局は4位で大手町にゴール。しかし、復路優勝を勝ち取ってくれました。シード権外まで落ちた4位入賞は、優勝とはまた違った感激をいただきました。LINE上ではこんな声も「素晴らしい走りでした。あつばれ。」「諦めなくて良かった。今年も勇気をもった。」「コロナ禍での箱根駅伝、ここ数年とは環境も結果も違いました。現在の厳しい環境の中でも諦めずに「絆」を感じてやり抜く大切さを選手達・監督に身をもって教えてもらいました。」「絆大作戦」は成功裡に完結したと思います。来年の第98回はコロナ感染が終息し、再びパブリックビューイングで多くの校友と一緒に応援したいものです。一人で応援するのも良いですが、校友と一緒に語り合い一喜一憂しながら応援する方が、母校愛も感激も喜びも増すものだとつくづく思いました。

山中宏美(昭53卒 経済)

印刷	発行責任者	青山学院校友会 静岡県西部支部 役員	青山学院校友会 静岡県西部支部 事務局
本社(御光明堂印刷所浜松市南区瓜内町七五二) TEL 053-442-0906	青山学院校友会静岡県西部支部 支部長 長谷川義男(昭43卒 経・商)	支部長 長谷川義男(昭43卒 経) 副支部長 平野修(昭46卒 法) 副支部長 長野敦子(昭58卒 法) 監査 久島達郎(昭49卒 経) 監査 鈴木繁樹(昭49卒 経) 事務局長 杉山泰規(昭55卒 理) 事務副局長 村松康雄(昭56卒 理) 会計 上村訓子(昭59卒 文) 幹事 福島秀男(昭52卒 経) 幹事 伊藤幸枝(昭52卒 経) 幹事 内藤明彦(昭53卒 経) 幹事 山宏美(昭53卒 経) 幹事 鈴木まり子(昭53卒 経) 幹事 水野雅之(昭57卒 経) 幹事 鷺江有一(昭57卒 経) 幹事 鎌江廣治(昭58卒 法) 幹事 松山太郎(昭60卒 経) 幹事 三輪久夫(昭61卒 経) 幹事 青山素久(昭04卒 文) 幹事 前田佳子(昭04卒 文) 幹事 鈴木啓子(昭15卒 経) 幹事 堀内正康(昭35卒 経)	青山学院校友会静岡県西部支部 事務局長 杉山泰規(昭55卒 理工) 〒435-0028 浜松市南区飯田町一〇二二 TEL 053-441-1462 E-mail mt_sugi@wonder.ocn.ne.jp

会員の方の 企業・お店 をご紹介 (是非、ご利用下さい)

環境のリーディングカンパニー

中村建設株式会社

〒430-0904
静岡県浜松市中区中沢町71-23
TEL 053-471-3421(代)
FAX 053-472-4066
https://www.nakaken.co.jp/

本社・名古屋支店・東京支店・中遠支店
東北営業所・静岡営業所・磐田営業所
新城営業所・西日本営業所

中村廣子(昭45卒 短教養)

Itoshin

株式会社 **イトシン**
http://www.itoshin.co.jp

【浜松本社】 〒432-8691 静岡県浜松市中区西滝田1丁目8番7号
TEL 053-441-0151 FAX 053-441-7147

【東京支店】 〒176-0012 東京都練馬区豊玉北1丁目27番7号
TEL 03-3557-6451 FAX 03-3557-6457

代表取締役社長 伊藤哲宏(平3卒文)

地域とともに
夢と豊かさを
広げます。

静岡銀行
SHIZUOKA BANK
https://www.shizuokabank.co.jp/

1620033

街中でくらし
街中であそぶ

ART FORME元城
2LDK(66.26㎡) 2,650万円より

(完全予約制)
053-455-0808
丸八不動産

ホームページ: 08artforme.com

平野 修(昭46卒法)